

67<sup>th</sup> 中間報告書 2016.4.1 ▶▶ 2016.9.30  
FINANCIAL REPORT



## 経営理念 Corporate Philosophy

みらかグループは、  
製品とサービスにおける  
新しい価値の創造を通じて、  
健康で豊かな社会づくりと  
世界の医療に貢献します。

## CONTENTS

- 1 株主のみなさまへ
- 2 当連結累計期間の概況／Topic
- 3 連結財務指標
- 4 セグメント別情報
- 6 連結財務諸表
- 8 会社情報
- 9 投資家向け情報

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2016年10月1日付で、代表執行役社長に就任いたしました竹内成和でございます。

ここに第67期第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の当社の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表執行役社長 **竹内 成和**

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国で緩慢な成長が続く一方、新興国においては景気減速が長期化しており、全体として抑制された状況が続いております。

わが国においては、企業収益に底堅さがみられる一方で個人消費は伸び悩んでおり、景気は全体的に足踏み状態で推移しております。

臨床検査業界におきましては、引き続き価格低下圧力および同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は102,653百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。臨床検査薬事業および受託臨床検査事業において海外子会社の売上高が伸長したものの、円高による減収影響が拡大し、結果として減収となりました。利益面では、国内受託臨床検査事業の利益減を、海外受託臨床検査事業の利益増が上回り、結果として営業利益は14,712百万円(前年同四半期比6.9%増)、経常利益は13,244百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の米国子会社であるFujirebio Diagnostics, Inc.に対する訴訟に関連する訴訟損失引当金繰入額を、また、当社の子会社である株式会社エスアールエルにおける自社利用ソフトウェアの開発プロジェクトの中止にかかるプロジェクト整理損失を、それぞれ特別損失として計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,097百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益6,525百万円)となりました。

		前年同期比
売上高	102,653 百万円	3.1% 減
営業利益	14,712 百万円	6.9% 増
経常利益	13,244 百万円	2.8% 増
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△5,097 百万円	—

### Topic

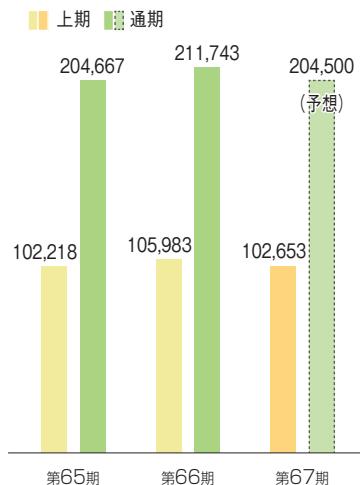
## 富士レビオ 相模原工場を稼働、ルミパルス試薬の増産へ

臨床検査薬事業では、2011年より主要製品であるルミパルス®シリーズの海外展開を進めております。このほど、富士レビオは生産施設の拡張のために、これまで八王子工場で生産していたルミパルス用試薬の一部を相模原の拠点に移管し、2016年3月より相模原工場として生産を開始しました。今後は、八王子・相模原での生産体制により、ルミパルスの海外販売の加速や米国での本格的な販売開始に向けた増産に対応してまいります。



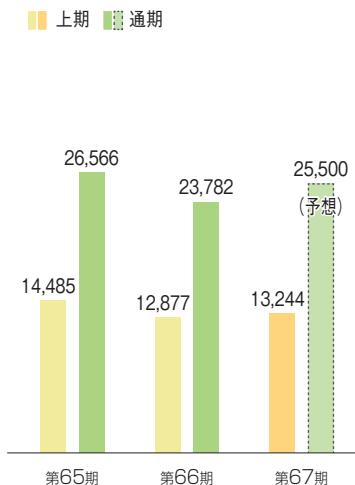
## 売上高

(単位:百万円)



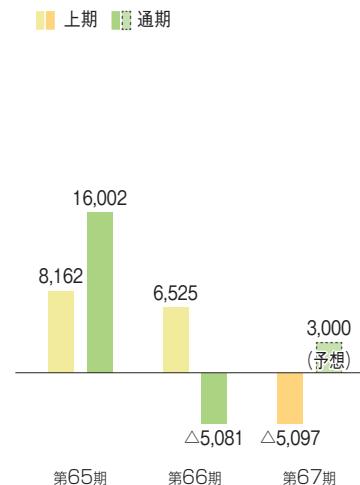
## 経常利益

(単位:百万円)



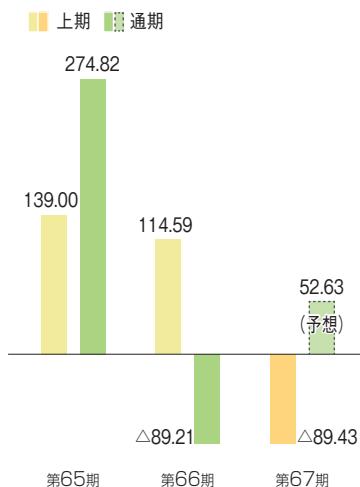
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失

(単位:百万円)



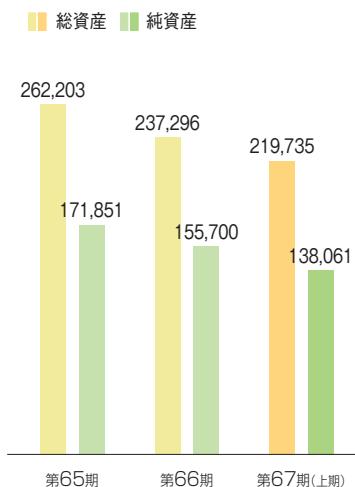
## 1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失

(単位:円)



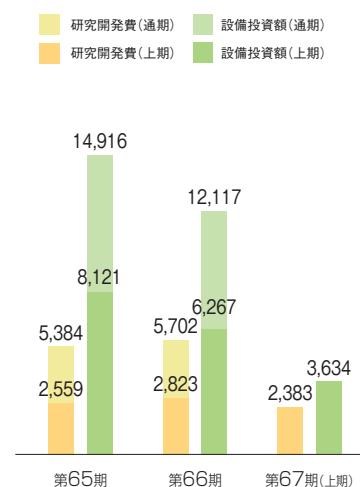
## 総資産 / 純資産

(単位:百万円)



## 研究開発費 / 設備投資額

(単位:百万円)

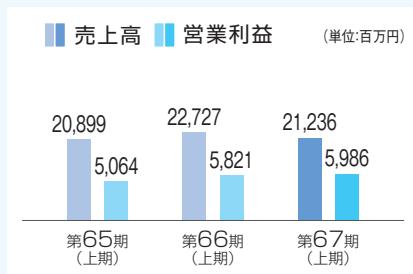


# セグメント別情報

## ■ 上期の概況



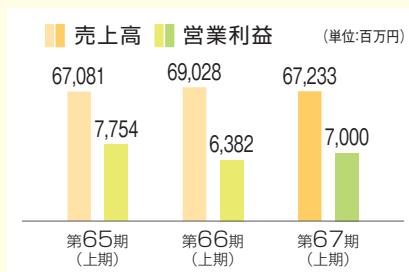
### 臨床検査薬事業



海外子会社における製品販売が伸長したものの、円高の影響と国内事業の減収を主要因として減収となりました。利益面では、国内事業のプロダクトミックス変化等の要因から増益となりました。これらの結果、売上高は21,236百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業利益は5,986百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。



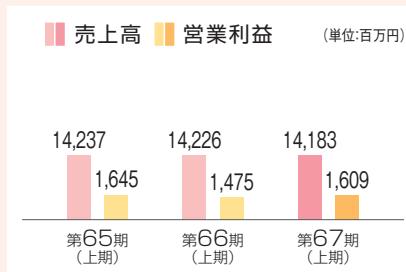
### 受託臨床検査事業



海外事業における販売が伸長したものの、円高による減収影響が拡大し、結果として減収となりました。利益面では、国内事業においてナビラボに伴う費用増を主要因として減益となったものの、海外事業における販売数量の増加およびのれん償却費の減少が寄与し、結果として増益となりました。これらの結果、売上高は67,233百万円(前年同四半期比2.6%減)、営業利益は7,000百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。



### ヘルスケア関連事業



滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は8,896百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力した結果、売上高は2,511百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

なお、感染防止商品販売事業については、本年3月をもって終了しました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は14,183百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益は1,609百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。

## ■ 事業内容

臨床検査薬事業では、富士レビオ株式会社と海外子会社が日・欧・米の拠点を中心に、臨床検査薬の開発・製造・販売業務を実施しており、世界100カ国以上に販売実績を有します。

中核製品である全自動化学発光酵素免疫測定システムのルミパルス®シリーズでは、感染症に加え、腫瘍領域、内分泌等の疾患に対応できる項目等、幅広い試薬ラインアップを有しており、国内外の医療機関および検査センターにご提供しております。また、日本赤十字社の血液センターにて、献血血液用検査システムとしてもご採用いただいております。

欧州では、感染症やアルツハイマー領域を中心とした製品群を、米国では、腫瘍領域を中心とした試薬および原料(抗体)の供給も実施しております。



ルミパルス®L2400

受託臨床検査事業では、国内においては、株式会社エスアールエルおよび子会社が病院や診療所を中心とする医療機関から検体検査の受託を行っております。

国内最大手の検査センターであるエスアールエルは全国に営業網を整備し、高度な技術力と学術力を生かして大学病院や国立病院などの大病院を中心に市場を拡大してきました。現在では、全国の病院や診療所から毎日20万件以上の検査を受託しております。

また、各検査子会社は開業医を中心にそれぞれの地域に根差した検査センターとして、高精度でスピーディーなサービスを提供しております。

海外においては、Miraca Life Sciences, Inc.が米国全土で病理検査の受託を行っております。



染色体検査室の様子

滅菌事業では、日本ステリ株式会社が病院内および8カ所ある滅菌センターにおいて、医療機関で使用された医療器具の「回収→洗浄→滅菌→供給」という滅菌業務の受託を行っております。

治験事業では、株式会社エスアールエル・メディサーチが専門知識や高度な技術、充実した国内ネットワークを活用し、医薬品開発のための治験検査の受託を中心に、製薬企業と医療機関のかけ橋となって確かな品質のサービスを提供しております。

また、その他のヘルスケア関連事業としては、福祉用具・用品のレンタル・販売などのサービスも展開しております。



医療器具の洗浄作業

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

	前連結会計年度 2016年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>94,027</b>	<b>98,492</b>
現金及び預金	31,756	29,230
受取手形及び売掛金	36,954	35,931
有価証券	—	10,000
商品及び製品	4,629	4,173
仕掛品	5,159	5,104
原材料及び貯蔵品	5,048	4,546
その他	11,873	10,939
貸倒引当金	△1,394	△1,433
<b>固定資産</b>	<b>143,269</b>	<b>121,242</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>40,277</b>	<b>36,993</b>
建物及び構築物(純額)	16,351	15,429
工具、器具及び備品(純額)	4,653	4,284
土地	9,106	8,959
その他(純額)	10,166	8,320
<b>無形固定資産</b>	<b>75,409</b>	<b>56,898</b>
のれん	31,738	27,391
顧客関連無形資産	27,483	23,726
ソフトウェア	8,760	1,716
その他	7,426	4,063
<b>投資その他の資産</b>	<b>27,581</b>	<b>27,350</b>
投資有価証券	15,242	12,890
その他	12,359	14,478
貸倒引当金	△20	△18
<b>資産合計</b>	<b>237,296</b>	<b>219,735</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2016年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>49,903</b>	<b>50,585</b>
支払手形及び買掛金	9,740	8,106
電子記録債務	1,421	1,540
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	5,999	3,999
未払金	5,829	4,828
未払法人税等	1,039	2,819
賞与引当金	4,928	4,425
訴訟損失引当金	2,420	2,426
プロジェクト整理損失引当金	—	2,874
その他	8,523	9,563
<b>固定負債</b>	<b>31,692</b>	<b>31,087</b>
長期借入金	6,299	5,299
退職給付に係る負債	4,262	4,071
資産除去債務	621	623
訴訟損失引当金	—	2,839
その他	20,509	18,253
<b>負債合計</b>	<b>81,596</b>	<b>81,673</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>126,646</b>	<b>118,458</b>
資本金	8,877	8,899
資本剰余金	24,599	24,621
利益剰余金	94,392	86,159
自己株式	△1,221	△1,222
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>28,828</b>	<b>19,362</b>
その他有価証券評価差額金	397	239
為替換算調整勘定	28,921	19,560
退職給付に係る調整累計額	△490	△437
<b>新株予約権</b>	<b>225</b>	<b>241</b>
<b>純資産合計</b>	<b>155,700</b>	<b>138,061</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>237,296</b>	<b>219,735</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## Consolidated Financial Statements

### ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 (累計) 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 (累計) 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
売上高	105,983	102,653
売上原価	64,354	62,204
売上総利益	41,628	40,449
販売費及び一般管理費	27,859	25,736
営業利益	13,769	14,712
営業外収益	310	329
受取利息	11	24
受取配当金	30	16
保険配当金	126	137
その他	141	151
営業外費用	1,202	1,797
支払利息	316	246
為替差損	41	762
持分法による投資損失	802	683
その他	42	105
経常利益	12,877	13,244
特別利益	2,125	81
固定資産売却益	2	1
新株予約権戻入益	9	10
受取補償金	2,114	60
その他	—	8
特別損失	278	18,261
固定資産除却損	24	36
訴訟損失引当金繰入額	—	2,913
プロジェクト整理損失	—	14,683
その他	253	628
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,724	△4,936
法人税、住民税及び事業税	8,421	4,624
法人税等調整額	△222	△4,463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,525	△5,097
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,525	△5,097

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (累計) 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 (累計) 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	15,730	19,736
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,161	△3,830
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,616	△6,577
現金及び現金同等物に係る 換算差額	135	△1,854
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	4,087	7,473
現金及び現金同等物の 期首残高	27,288	31,745
現金及び現金同等物の 四半期末残高	31,376	39,219

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 会社概要 (2016年9月30日現在)

社 名 みらかホールディングス株式会社  
 本社所在地 〒163-0408  
 東京都新宿区西新宿2-1-1  
 新宿三井ビルディング  
 TEL：03-5909-3335 (代表)

資 本 金 8,899百万円  
 経 営 体 制 指名委員会等設置会社  
 従 業 員 数 6,222名(連結)

## ■ 役員一覧 (2016年10月1日現在)

### 取締役

竹 内 成 和	
鈴 木 博 正	
能 仲 久 嗣	(社外取締役)
井 口 直 樹	(社外取締役)
石 黒 美 幸	(社外取締役)
伊 藤 良 二	(社外取締役)
高 岡 浩 三	(社外取締役)

### 執行役

竹 内 成 和	(代表執行役社長)
鈴 木 博 正	
田 澤 裕 光	
木 村 博 昭	
北 村 直 樹	
大 月 重 人	
秦 孝 昭	



竹内 成和  
取締役 代表執行役社長



鈴木 博正  
取締役 執行役



能仲 久嗣  
社外取締役



井口 直樹  
社外取締役



石黒 美幸  
社外取締役



伊藤 良二  
社外取締役



高岡 浩三  
社外取締役



田澤 裕光  
執行役



木村 博昭  
執行役



北村 直樹  
執行役



大月 重人  
執行役



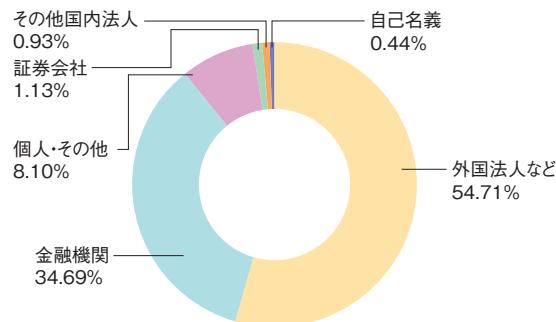
秦 孝昭  
執行役

(2016年9月30日現在)

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	57,259,266株
1単元の株式数	100株
株主数	5,208名

## ■ 所有者別株式数の状況



## ■ 大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,213.1	7.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,926.1	6.89
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,082.0	3.65
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.51
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.70
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,356.7	2.38
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,165.6	2.04
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,085.5	1.90

- (注) 1. 持株比率は自己株式250,567株を除いて計算しております。  
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、全て信託業務に係るものであります。  
 3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131.5千株（持株比率3.72%）を含んでおります。  
 (株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

## ■ 個人投資家向けIRセミナー

2016年7月9日（土）、都内の有楽町朝日ホールで開催された「朝日新聞×会社四季報 第7回個人投資家向けIRセミナー」に参加いたしました。

また、関東周辺や広島、福岡の証券会社支店においても、個人投資家向けIRセミナーを開催いたしました。



朝日新聞×会社四季報 第7回個人投資家向けIRセミナーにて

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告（ <a href="http://www.miraca-holdings.co.jp/">http://www.miraca-holdings.co.jp/</a> ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 （特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金) (受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） でもお取扱いいたします。  みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） (※) トラストラウンジではお取扱できませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## みらかホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング  
お問い合わせ：IR 広報グループ TEL 03-5909-3337  
<http://www.miraca-holdings.co.jp/>

